

マックスマラー 2026年リゾートコレクションを発表



マックスマラーは6月17日（現地時間）、ナポリ近郊のカゼルタ宮殿にて、2026年リゾートコレクション「ヴェネーレ・ヴェスヴィアーナ」を発表いたしました。

1951年、イタリアが戦後の復興を遂げ、新たな時代の息吹が芽生え始めた年。マックスマラーが創業し、ルース・オーキンが『アメリカン・ガール・イン・イタリア』を撮影したこの年、一人で街を歩く女性の姿は人々の目を引く存在でした。当時はシルヴァーナ・マンガーノやソフィア・ローレンといったイタリア映画界の女神たちが、世界を魅了していました。自由で力強く、同時に官能的で気品に満ちた彼女たちの存在は、イタリア女性の本質を体現し、今なおマックスマラーの創作の源泉であり続けています。

マックスマラーは2026年リゾートコレクションの舞台として、ナポリ近郊に佇むイタリア最大級のバロック建築、カゼルタ宮殿を選びました。壮麗な階段と広大な回廊を有するこの宮殿は、まさに“静かなる巨人”、イタリアの美と精神を物語る象徴的な存在です。その空間は、1950年代から現在へと続く女性たちの進化と、マックスマラーが支え続けてきたその歩みを投影するにふさわしい場所でもあります。

本コレクションでは、1950年代の映画に登場するヒロインたちからインスピレーションを得たルックが登場します。『苦い米（Riso Amaro）』を彷彿とさせるショートパンツや、ひし形の立体ポケットが特徴的なサーキュラスカート、ポートレートカラーのトップスやストラップドレスは、ソフィア・ローレンの気高さを思わせます。さらに、ナポリの名店マリネッラとコラボレーションした1951年生まれのクラヴァッテ柄（ネクタイ）を再解釈。シルクパジャマや刺繍入りカシミアセーターとして蘇らせ、ラウンジウエアの域を超えたエレガンスを纏います。コートはマックスマラーの真髄とも言えるタイムレスなアイテムが揃い、ショールカラーやファネルネック、フリンジ付きなど多彩なシルエットが登場。クリスタルをあしらった重厚なパノのガウンや、インナーに仕込まれたボン入りシルクガーゼが、ナポリらしいドラマティックさを添えます。そして、ピンクやブルーのキャンディストライプのシャツに白い襟、ナポリ

MaxMara

Venere Vesuviana
Resort 2026

仕立ての軽やかなジャケットを合わせた“現代のキアッティッロ”、洒脱で少し虚栄心のある男性像も登場。完成されたルックには、アイコン的な「ホイットニー バッグ」の新作4型と、タイムレスなシルクスカーフ5種が彩りを添えます。

イタリアの“静かなる巨人”が、その偉大な遺産のひとつであるカゼルタ宮殿に姿を現します。壮麗なバロック建築であるこの宮殿の、激しく流れ落ちるような大理石の階段を舞台に、マックスマーラは「パルテノペの誇り、情熱、そしてエンパワーメント」に捧げるコレクションを披露します。

ヴィヴァ・ヴェネーレ・ヴェスヴィアーナ！



MaxMara

Venere Vesuviana
Resort 2026



クレジット

- ・ヘア：ピエルパオロ・ライ / Hair: Pierpaolo Lai
- ・メイク：フルヴィア・ファロルフィ / Make up: Fulvia Farolfi
- ・ネイル：アンナレル・イノチェンテ・フリーナ / Nails: Annarel Innocente Furina
- ・音楽：ジョニー・ダイネル / Music: Johnny Dynell

#MaxMara

#MaxMaraResort26

About Max Mara

マックスマラーは、1951年イタリアのレージョ・エミリアでアキレ・マラモッティによって創業。創業当初からクオリティに妥協することなく、最高の素材と製造者を揃え、女性が望み、身にまとい、共に生きる衣服を目指し、アウターウェアからアクセサリーまで様々なカテゴリーのワードローブを提案しております。現在、マックスマラーを含むマックスマラーグループは全世界で5,300名以上の従業員を有し、100カ国以上の2,500を超える店舗とオンラインストアにて展開しております。